

たかす議会だより

孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名) 題字 宮島歩美

No. **172**

平成30年9月定例会号

発行:北海道鷹栖町議会
編集:広報広聴常任委員会

2018年11月5日 発行



鷹栖地区 プレオープン間近! 2
住民センター
第3回定例会詳細

地域の特色活かした施策 4
平成29年度決算審査

4名の議員が一般質問 11
青野議員・日下議員・片山議員・大石議員

開かれた議会を目指して 16
地域を語ろう会開催

クイズに挑戦! 19
くじゃくそうクイズ 次回定例会案内ほか

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、平成31年の通常国会で森林環境税（仮称）および森林環境譲与税（仮称）の創設が予定されています。

これらや既存の制度を活用した地域の特性に応じた森林整備の着実な推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業



<http://www.town.takasu.hokkaido.jp/kurashi/gikai/files/ikensho13.pdf>

「林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書」を提出しました。

意見書の趣旨は以下の通りです。

提出議員 大石 隆
賛成議員 中家 彰

意見書は衆参両議長、内閣総理大臣のほか、関係大臣に提出しました。

意見書の全文はウェブでも確認できます。

意見書

国に施策の充実・強化求め 林業・木材産業の成長産業化に向け



鷹栖町内の一般民有林面積は4824ha

補正

農作物の大雨被害に支援 平成30年度一般会計補正予算

平成30年度の予算が補正されました。一般会計の補正は今年度4回目、介護保険特別会計は1回目です。

新しい事業について説明します。

施設野菜大雨被害支援事業

7月の大雨による農作物被害の支援です。対象農作物はきゅうりと原料用トマト。対象期間中、防除に使った農薬代の3割が補助されます。

27万円

産婦健診

平成30年4月以降に出生した産婦を対象に、1回あたり5000円を上限に1人2回までの産婦健診が助成されます。

32万円

(万円未満四捨五入)

一般会計		補正額	補正前の額	補正後の額
		1044万円	59億323万円	59億1367万円
内訳	議会費	65万円	議員研修費用の追加	
	総務費	278万円	庁内OA化推進事業費用の追加	
	民生費	456万円	保育園の施設修繕費用（40万円）などの追加	
	衛生費	32万円	産婦健診助成金の追加	
	農林費	172万円	施設野菜の大雨被害支援補助金などの追加	
	商工費	6万円	雇用促進対策事業助成金の追加	
	土木費	35万円	融雪槽等設置補助金の追加	
介護保険特別会計		1355万円	8億3470万円	8億4825万円

契約

プール改修 B&G海洋センター

屋根の鉄骨部分の更新をします。指名競争入札による契約です。

8424万円

人事

藤原卓さん 教育委員会委員に

任期満了に伴い教育委員会委員の選任に同意しました。（新任）任期は4年です。



「未来への投資」優先的に

一般会計は
特別会計は

平成29年度一般会計は、歳入総額が58億8563万9千円、歳出総額が57億9136万9千円となり、歳出執行率は98・0%でした。歳入歳出差引額から翌年度に繰越す財源を除く実質収支額は9227万円の黒字となりました。

歳入では乾燥調整貯蔵施設増強やよかげ団地公営住宅建設工事などの事業の完了による国庫支出金や町債が減額となりました。寄付金の総額は1億2506万7千円と28年度に引続き1億円を超えました。

歳出では、サービス付高齢者向け住宅建設補助、認定子ども園施設整備補助などの事業完了により、前年度比4億5840万2千円の減額となりました。

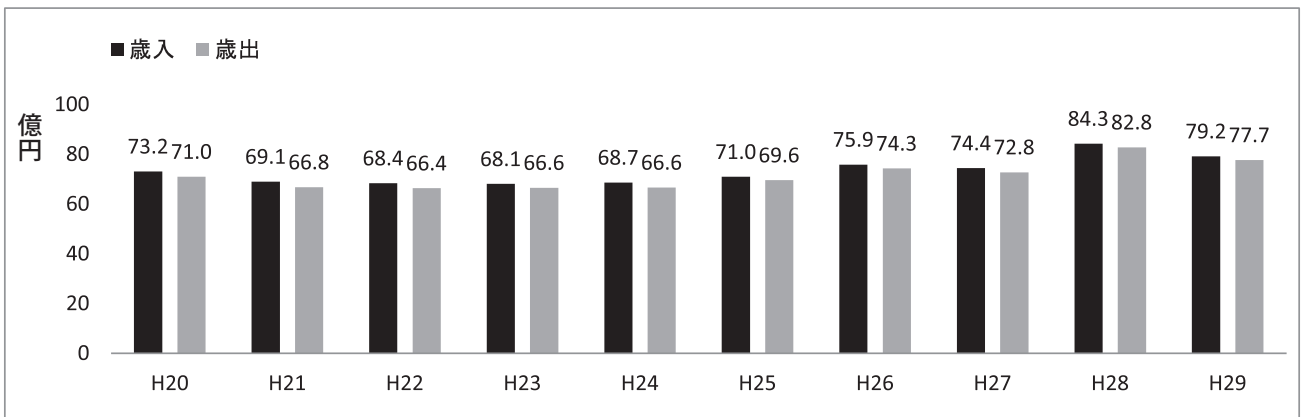
国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、公共下水道事業、上川町村等公平委員会の5つの特別会計を合わせた歳入総額は20億3554万4千円、歳出総額が19億7646万4千円となり、歳出執行率は96・4%でした。歳入歳出差引額から翌年度に繰越す財源を除く実質収支額は5908万円の黒字となりました。

国保会計の診療費の給付状況は、被保険者数、総件数、総費用額のいずれも減少しており、一人当たりの費用額についても、減少しています。

した施策

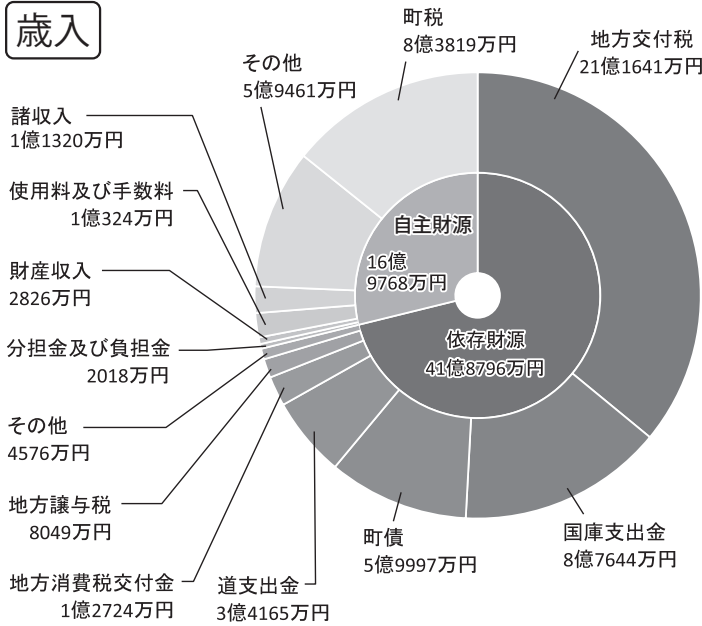
一般会計歳出
57億9137万円
前年度比7.3%減

過去10年の一般・特別会計決算

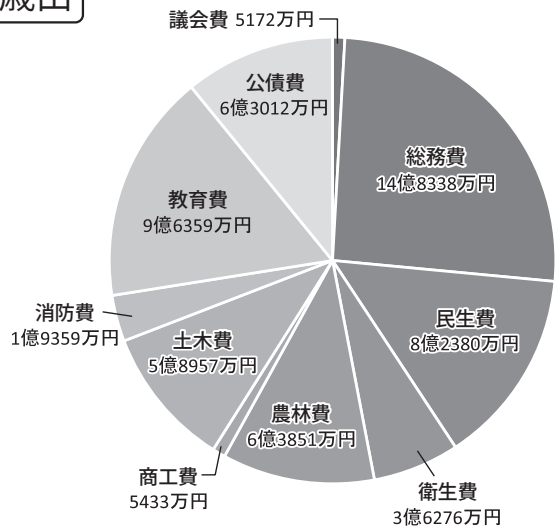


平成29年度一般会計決算

歳入



歳出



平成29年度決算

地域の特色活か

監査委員の意見

普通会計における実質収支比率が3・0%で前年度比0・9ポイント低下していますが、望ましい範囲内です。

主要な財務比率の前年度比較は表の通りです。

経常収支比率 低いほど財政運営に弾力性があります。	83.2%	3.4ポイント上昇 2年連続上昇
財政力指数 高いほど財源に余裕があるとされます。	0.295	0.003ポイント上昇 4年連続上昇
実質公債費比率 資金繰りの程度を表す指標です。	6.8%	0.3ポイント減少 10年連続減少
将来負担比率 高いと将来の財政負担要因が大きいことを示しています。	18.8%	0.5ポイント上昇 正常の範囲内

実質収支比率とは

自治体の財政規模に対する収支の割合です。収支が黒字なら正の数、赤字なら負の数になります。一般的に3〜5%が適正な範囲とされています。

総合的に勘案すると、中期的には本町の財政状況は安定していると判断できません。

今後、社会保障関係経費や公債費の増加が予想されます。町債の発行は計画的に取り組んでください。

事業成果や費用対効果の検証、維持管理費等の経常経費の縮減に努めること、職員が町民サービスに注力できる環境づくりを望みます。



代表監査委員
前井 誠一さん

みんなのお金

決算認定質疑

社会教育

(教育課)



29年度からは司書が3人に増員
左から山田香織さん、森田由紀さん、外山裕子さん

29年度の図書室の利用者は約8700人でした

図書購入

選書方針と検証は？

片山議員

約950万円

で5193冊の図書を購入しているが、この効果をどのように検証しているのか。選書が適切かどうかの検証方法と選書の方針は。

A

目標冊数に向け購入をすすめています。選書方針は読書計画改正の中で考えていきます。歴史関係や子供たちの本など少ない分野もあるので、今後、充実させていきます。

住民センター

どう利用者を増やす？

片山議員

人口減の影響

もあり住民センターの利用者数は5地区すべてで減っている。利用増進のため考えていることは。

A

事業の見直しも必要であると認識しています。

懸垂幕の製作

基準はある？

大石議員

懸垂幕製作約

35万円は28年度に比べて多いが、内容は。製作する場合、基準はあるのか。

A

クロスカントリー大会での入賞や荻田氏による南極点到達の際に懸垂幕を製作しました。全国大会等の3位以上入賞を基準としています。



町民の方の活躍を知らせる懸垂幕

どう活かされた？

平成 29 年度一般・特別会計

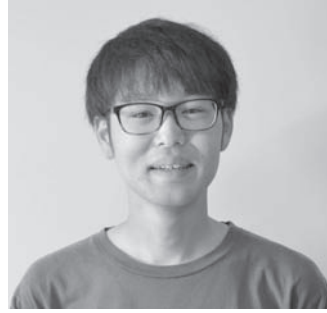
産業の活性化

(産業振興課)

四季の里の協力隊

活動の成果は？

舟根議員 29年7月から四季の里に地域おこし協力隊の方が活動している。その成果は。



四季の里の宮井隊員

A 29年度は町内の加工グループなどを見て歩いてもらうのが主な活動でした。その中でも食品を乾燥させふりかけのようなものを作れないか試行錯誤しています。試験栽培の予定もありましたが、天候が悪く、出来ていません。平成30年度からは北斗地区の「花かいどう」でも活動しています。

秋の大収穫祭

夕方以降の工夫は？

舟根議員 秋の大収穫祭は客が少なくなる夕方から夜の花火までの間が長すぎるのではないかと。花火にこだわらずに時間短縮することも含め、対策として考えていることは。

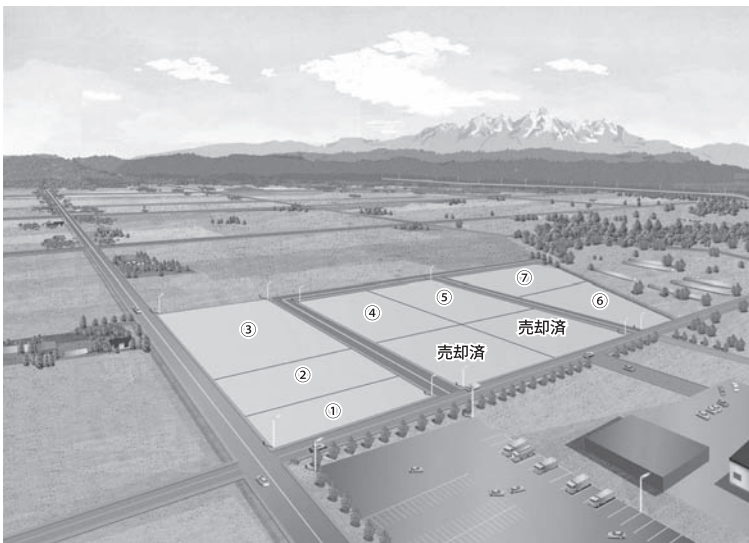
A 夕方以降でもイベントを行っているなど、場所には客がいるなど、場所によつて違いはあります。今後イベント内容を工夫するなど、考えながらすすめていきます。

工業団地への誘致

なぜうまくいかない？

植西議員 工業団地への誘致のため企業訪問しても成立には至っていないが、どのような部分で条件が合わないのか。

A 29年度は運送業中心に誘致活動をしました。働き方改革が経営者にとつて負担となつているようので、新たな設備投資が難しい状況が続くと思われます。



たかす工業団地は7区画を販売中



農業関係

(産業振興課)

農地のあっせん

今後の見通しは？

農地のあっせんとは？

農地を売り買いつくるときは農地法に基づき、農業委員会の許可を受ける必要があります。農業委員会では農業経営の発展に結びつくよう、「売りたい方＝出し手」と「買いたい方＝受け手」の間に立ち、あっせんを行います。あっせんを受けた場合には税など優遇措置があります。

青野議員

農業委員会に

よるあっせんは申出43件に対し、成立が21件となっている。今後の見通しは。

将来に向けた農地の維持管理の観点から、行政としても地域と一体となって考えていかなければならないのでは。

A

すでに多くの土地を持っている受け手も多く、非常に厳しい状況です。

地権者の方に耕作しやすく整備するなどの努力をしつかりと話し合い、農地を守っていきたくと考えています。

農業交流センター

購入できなかった土地は？

舟根議員

農業交流セン

ターは一部の民地を予定通りに購入することができなかつたが、この影響は。

A

価格面で折り合いがつかず購入に至りませんでした。利用計画も変更し落ち着いている状況です。今のところ不具合はありませんが、今後必要があれば検討します。

振興公社と相談しながらすすめていきます。



「原料トマト生産振興対策事業」では、接木苗の購入に要する費用の助成を行っています

原料トマト

どう作付を増やす？

青野議員

オオカミの桃

原料トマトの生産振興は、さまざまな助成を行い力を入れていく状況である。作付を増やすため、生産者の要望などをどうとらえているか。

Q

作付戸数を増やすのか、1戸あたりの面積を増やすのか。振興公社や両農協と協議していかなければならないのでは。

A

どんな方に作っていただくのかも含め、来年の作付に間に合うよう協議をすすめていきます。



女性農業委員

どんな活躍をしているの？

舟根議員 29年度から農業委員に2名の女性が増えたが、どのような活躍をしているのか。

A まだ1年が経ったばかりで覚えていかないとない部分があるいろいろなありますが、雰囲気がよくなりました。パートナー対策や女性農業サークルの活動にも参加し、活躍してもらっています。



女性農業委員の2人
左から寺崎秀子さん、齊藤哲子さん

有害鳥獣

農作物の被害は？

青野議員 有害鳥獣による農作物の被害総額は。

A 金額にすると約182万円です。

見守り（健康福祉課）

みまもりサポートシステム

今後の活用は？

片山議員 みまもりサポートシステム事業は当初の見込みよりも利用者が少ない状況だが、活用を促すため考えていることは。

A 実際に活用された例もあり有効な事業と考えます。利用者に改善点がないか聞き取りを行うほか、事業の周知にも努めていきます。

みまもりサポートシステム事業

みまもりタグ所持者の現在位置を早期に把握し、早期発見や事故防止を図り、家族が安心して介護できる環境づくりを目的とした事業です。

町では見守り体制の1つとして、みまもりタグアプリのインストールもお願いしています。

みまもりタグアプリはこちらから



App Store



Google Play





今年度も防災訓練が開催されました
約 50 名が参加

まちづくり(総務企画課)

防災意識

どうやって高める？

植西議員

北海道胆振東

部地震では鷹栖町でも生活面や農産物の受け入れなど実際に経験しないと分からないような被害があった。また普段から防災グッズを用意するなど防災意識を高める必要性を実感したが、今後の方針は。

A

30年度の防災訓練は

地区住民だけでなく全町民を対象にしました。どう備えたらよいかの講義、グループワーキングなどを行い、防災グッズの紹介もしました。今後も防災意識の高揚に努め、重点的な訓練もしていく考えです。

ちよつと暮らし体験

PR不足では？

植西議員

移住促進対策

のちよつと暮らし体験の実績が4件というのは少ない。PRが足りないのではないか。

A

申し込みが夏に集中

しているため抽選で体験いただいている状況です。冬の移住体験にも力を入れていきます。

Q

実際に移住してから

地域になじめず引越した例もある。都会での暮らしとのギャップについても充分な説明が必要では。

A

冬の厳しさ、地域の

実情も説明しています。また、住宅建築や空き家改修に関わる助成を受けるためには町内会加入を条件とするなどしています。

ごみ問題(町民課)

ごみ分別方法の変更

収集体制はこのまま？

片山議員

ごみの分別方

法が変わったことで、出るごみの種類や量に変化がみられる。収集体制の変更などは検討しているのか。

A

燃えるごみは増えて

いますが、現状では収集しきれないという状況はなく現状を維持する考えです。今後の様子を見て、必要があれば再度検討します。



分別方法変更の説明会の様子
説明後、実際にごみを分別しました

29年度のごみの量と前年度比
焼却ごみ 828 t (76 t 増)
埋立ごみ 124 t (136 t 減)

不法投棄

監視カメラの効果は？

植西議員

不法投棄の量

が減っていない。監視カメラ導入の効果は出ているのか。

A

パトロールを強化し

たため収集量も増えていきます。監視カメラには効果があると考えていますので、今後も活用していきます。

一般質問

4名の議員が町政を質す！

一般質問とは

一般質問とは定例会において、各議員が住民を代表して行財政全般にわたり町当局の考え方や、疑問をたずねることです。

単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

鷹栖町議会では質問の方法に次の3つの方法があります。

【一括質疑方式】 質疑事項を全て述べて答弁を求める方法。同一の議題について質疑は3回まで、時間制限なし。

【二問一答方式】 質疑事項を1つずつ取り上げていく方法。持ち時間45分。

【複合方式】 質疑事項を全て述べて、再質問以降を一問一答方式で行う方法。持ち時間45分。

今回は全員一問一答方式での質問でした。

質問議員	質問内容	頁
青野 敏 議員	<ul style="list-style-type: none"> 独自の農業経営継承事業の考えは 土地や施設のリース事業の考えは 就農初期の後継者への経済的支援は 	12
日下 義朗 議員	<ul style="list-style-type: none"> 鷹栖型コミュニティ・スクールとは 不登校児童生徒への支援体制は 	13
片山 兵衛 議員	<ul style="list-style-type: none"> 町営バスの乗降場所を増設できないか 風呂等優待券の活用を なぜ変更 プレミアム付き商品券 	14
大石 隆 議員	<ul style="list-style-type: none"> 優佳良織 DMOでの活用検討は AEDの学校での取り組みは 	15

※予定していた齊藤議員の質問は欠席のため取り下げとなりました。



傍聴者の声

- ・わかりやすいやり取りでした。
- ・専門分野は難しい。
- ・3階まで登るのがつらい。

今回、一般質問の傍聴にいらした3名の方はいずれも新聞折込みを見ていらしたとのことでした。

独自の農業経営継承事業の考えは

町長 平成30年度中に確立する



「あったかファーム」のハウス

町内の経営継承の状況

平成29年度	施設園芸＋水稲	1件
平成30年度	水稲単作	1件
	施設園芸	1件
合計		3件

を調査・研究し、町独自の経営継承事業を平成30年度中に確立します。

土地や施設のリース事業の考えは

質問 新規就農者への土地および施設リース事業の考えは。初期負担が軽減され、早期での安定経営と将来の規模拡大にもつながらるのでは。

答弁 新規就農者が営農できる場所の必要性も感じています。北野・鷹栖地区農用地利用調整組合とも相談し、賃貸による農地確保や国の農地保有合理化事業などを活用します。

施設に関しては、他県の野菜リースハウス事業等の



青野 敏 議員

調査・研究を農協、農業ビジョン検討会、受入農家協議会などと連携し、検討していきます。

就農初期の後継者に経済的支援を

質問 研修期間や就農初期段階では、後継者も新規就農者と同じく経営的に大変厳しい環境の中で努力をしている。

答弁 本町の将来を支える後継者に対しても就農初期での経済的な支援が必要では。後継者・親元就農者への経済的支援策も課題

です。

後継者への支援制度は、年間20万円3年間の就農支援事業、月額2万円最大5年間上限の家賃助成事業および、資格取得に対する半額助成があります。

後継者および後継候補者の生活実態調査を行い、生活面・経営面を考慮しながら支援内容の充実を検討していきます。

農 業経営者の現状と将来に向けた意向調査を行い、移譲希望者の情報を整理し、継承希望者と経営継承をスムーズに行う事が担い手対策としても有効な手段である。

農業経営継承事業は新規就農者の課題である施設・機械・土地など経済的な負担軽減にもなり、早期での

安定経営にも繋がる。本町独自の取り組みの考えは。

答弁 本町では平成29年度から合計3件の経営継承が成立しています。また60歳以上で後継者のいない農業者を対象に第三者経営継承事業の意向確認を進めています。

今後、受入農家協議会と継承方法・資産評価方法等

鷹栖型コミュニティ・スクールとは

教育長 鷹栖の特色を活かした応援団的組織に



「子育て」をテーマに開催した北野地区での「地域を語る会」でも不登校に関する意見が出されました

本 町が「学校運営協議会」の名称を「鷹栖型コミュニティ・スクール」と特化した名称にする意図は。どのように文科省や他自治体との違いを出すのか。

答弁 「地域とともにある学校の推進」こそが鷹栖の特色を活かす「鷹栖型コミュニティ・スクール」と考えます。

質問 学校運営協議会に教育課程の編成や予算の承

認などの権限を付与した場合、意見調整のため経営計画策定が遅れることも出てくる。学校運営協議会への権限付与についての基本的な考えは。

答弁 意見の相違などによる調整がないようコミュニティ・スクールでよく議論することが重要であると考えます。学校応援団的な組織として進めたいと思います。

質問 学校運営協議会活動評価や進捗状況評価の導入は。各学校ごとに設置する学校評議員制度と学校運営協議会制度、および、学校評価の関連をどのように位置づけようとしているのか。

答弁 先行事例を参考にし、導入する方向で検討します。

不登校児童生徒への支援体制は

質問 本町での不登校児童生徒数の経年変化や支援

体制はどのようになっていくか。また改善事例数の経年変化や課題について考えは。

答弁 不登校児童生徒の状況把握と情報共有に努めています。

状況によってはスクールカウンセラーや健康福祉課、さらに学校への復帰支援を行っている旭川市指導適応教室「ゆつくらす」とも連携し対応しています。特に今年の4月からは、

不登校児童生徒の資料を作成し全教職員に配布、不登校への共通理解や連携を強化しています。

また、中学校では別室登校を実施する中で個別指導を実施し、学習機会の提供も行っています。

質問 スクールソーシャルワーカーは教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や技術を有する人材で、多様な支援方法を用いて課題解決を行っている。本町でも積極的な配置をし、児童生徒の不登校改善に活用する考えは。

答弁 北海道教育委員会の「スクールソーシャルワーカー派遣事業」を活用するとともに、不登校児童生徒の現状や、学校の状況などを踏まえながら、適切な対応を図ってまいります。



日下 義朗 議員

町営バスの乗降場所を増設できないか

町長 よりよい運行体制を検討する



町営バスは30年度から一部の便を除き、乗車1時間前の予約ができるようになっています

また乗降場所のどちらかが公共施設であれば、運行区域内は好きな場所を選ぶことができます

質問

例えば町営バスで友人の家に行くのは難しい。各町内会館も乗降場所に指定できないか。

答弁

公共交通会議では、地域の声を聞き取るため各連合会長に出席してもらっています。会議の中で話をして検討したいと考えています。

町 営バスの利便性は向上しているが、市街地を出ると乗降場所が自宅以外にほとんどない。

デマンド化前のバス停程度に乗降場所を増設することはできないか。

答弁

2年前のデマンド化、また4月からの予約時間の見直しにより月平均利用者が増えています。今後も利用者の意見を伺

い、公共交通会議に諮りながら、よりよい運行体制を検討していく考えです。

質問

利用者だけでなく、現在利用していない方の意見も重要ではないか。調査対象や方法の工夫は。

答弁

老人会などに聞き取りをしています。現在のところは特別な要望などは聞いていません。

風呂等優待券の活用を

質問

70歳以上の高齢者および障がい者に年間20枚提供されているサンホールはびねす風呂等優待券の使用実績が低い状態にある。入浴は健康にもよく、そこで集まることでサロンとしての効果も期待できる。事業のより一層の活用が望まれる。

質問

1人での入浴が不安な高齢者もいる。高齢者の介添えの方についても検討できないか。

答弁

ある程度のところではラインを引かなくてはならないという現状があることをご理解ください。

答弁

以前却下されたが、優待券を介護者1名まで使用できるよう、改めて検討できないか。

質問

障害者手帳、療育手帳を所持し一定の支援が必要な方については、介添えの方も優待券を利用できる方向で検討したいと考えています。

質問

例年に比べ、プレミアム付き商品券完売までに時間がかかった。ガソリン・灯油などに使用できなくなったことも理由と考えられる。

質問

これらの有利な購入は、住民サービスに寄与していた面もあったのでは。

答弁

燃料の購入分が他の事業者に循環されれば町内消費の回復に効果があると考え、今年度は対象外としました。地域消費活性化事業協議会と実績を確認し検証します。



片山 兵衛 議員

なぜ変更。プレミアム付き商品券

優佳良織 DMOでの活用検討は

町長 広域観光での必要性を検証し慎重に対応



1980年に開館した優佳良織工芸館
現在は長期休館中

2016年12月に旭川市南ヶ丘3丁目にある北海道伝統美術工芸村が経営破綻し、優佳良織工芸館、国際染色美術館の2館は長期休館している。雪の美術館は別法人のマリブラスサム株式会社に移行され、現在も美術館全体の運営をしています。

旭川市が3施設の活用の検討について、一般社団法人大雪カムイミンタラDMO（旭川市と鷹栖町・東神楽町・当麻町・比布町・愛

別町・上川町・東川町の7町で構成）に依頼してきたが、対応は。

答弁 大雪DMOが主体となつて3施設を運営するのではなく、圏域の観光拠点施設としての活用について可能性を検討し、方向性や活用案について旭川市へ提示する予定となっています。

3施設の活用については、建物の取得や修繕等に係る費用のほか、安定的な収入の確保による持続可能な運営手法の確立など、さまざまな課題があると考えています。

大雪DMOは近隣7町も構成員ですから、広域観光における必要性等を十分に検証し、慎重に対応します。

AEDの学校での取組みは

質問 2004年7月より、医療従事者ではなく一般市民でもAED（自動体外式除細動器）の使用が認められた。

児童生徒が応急手当の正しい知識・技能を持つことは大事である。小中学校での指導、実習は。

答弁 教育長 日本スポーツ振興センターの死亡見舞金は学校管理下の小中学校では平成28年度24件で心臓の突然死は2件でした。

小学5年生だけが手当での学習、中学校2年生で応急手当の心肺蘇生の学習で、胸骨圧迫、AEDを教科書で学習していますが、実習についても検討しています。

質問 教職員への設置箇所、使用の共通認識や講習等への参加は。

答弁 職員室か職員玄関

に配置しています。

消防の講習は、鷹栖小学校で隔年実施ですが、北野小学校、中学校では実施していないので受講を検討します。

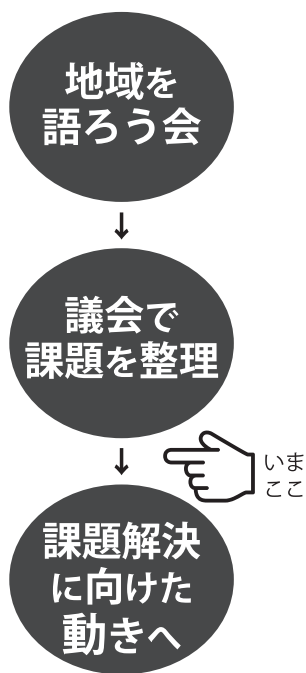
質問 AEDが緊急時に確実に作動することが求められているが、動作確認、更新は。

答弁 株式会社セコムとリース契約しています。使用期限内に本体の更新を行います。電極パッドは、1年から1年半で交換しています。



大石 隆 議員

開かれた議会を目指して 地域を語ろう会を開催



8月28日から議会と町民の方との意見交換会「地域を語ろう会」を開催しました。

平成20年に「議会報告会」としてスタートし、その後、意見交換に力を入れるため名称や内容を変更してきました。今回はよりご意見を出してもらいやすくなるため、それぞれの地域のテーマを設定し、より意見交換を重視した方式での開催に変更しました。

町民の皆さんが常日頃思っている疑問や要望をはじめ地域の課題を掘り起こすことに努めました。

うかがったご意見をもとに議会の中で議論を深め、課題解決を目指します。



開催日	会場	参加人数
8月28日(火)	北野地区住民センター	17名
8月29日(水)	北成地区住民センター	11名
8月30日(木)	中央地区住民センター	16名
8月31日(金)	北斗地区住民センター	6名
9月3日(月)	プラザ・クロス10	12名

第5回臨時会 8月21日
災害復旧で補正予算

今年度3回目となる一般会計の補正、町道廃止、町道認定、総合行政システムの取得、ごみ収集車購入契約について審議し、全会一致で可決しました。

契約 低利な資金を活用
ごみ収集車購入

4トン平ボディートラックを備荒資金組合の事業を活用し、低利で購入します。指名競争入札による契約です。 988万2千円

補正 復旧工事17か所
7月3日豪雨により

土砂上げや護岸工事の発注のため平成30年度一般会計に820万円を追加しました。

町道 河川改修に伴い
町道の廃止と認定

北海道が行うイブンベウシ川の河川改修に伴い、町道部分を一部北海道へ譲渡するための措置を行います。



7月の豪雨で冠水した道路(北成地区 18線16号)

(万円未満四捨五入)

一般会計		補正額	補正前の額	補正後の額
		820万円	58億9503万円	59億323万円
内訳	土木費	460万円	豪雨による被災箇所での復旧費用の追加	
	災害復旧費	360万円		

議会のうごき

8/1~10/31

活性化委員会

地域を語ろう会

企画とまとめ

- 8/8
- 8/21
- 8/5
- 9/12
- 10/23

本会議前には議員協議会、各常任委員会、議会運営委員会を開催しています。

10月17日には老人会との「地域を語ろう会」を開催しました。

地域を語ろう会開催に向け、役員会を中心に開催方法を協議しました。開催後は会場で出た意見を集約しながら課題がどこにあるのか議論を続けています。

10月23日には当麻町で上川管内町村議会議員研修会、24日〜26日には総務文教・経済福祉常任委員会合同所管事務調査(弟子屈町・浜中町・釧路町)に取り組みました。

広報広聴 常任委員会

議会報の編集

- 9/11
- 9/21
- 10/9
- 9/27
- 10/18

8月22日の研修会に参加した(18ページ)ほか、議会報「孔雀草」の編集作業を行いました。

これらの詳細は次回の議会報でお知らせします。

研修会

写真ゼロのページをなくす

議会広報研修会で指摘

平成30年8月22日(水)に
ポールスター札幌で全道議
会広報研修会が開催され、
広報広聴常任委員会の委員
全員と事務局書記の7名で
参加しました。

広報広聴常任委員会では
現在、編集方針を策定中
ですが、指摘されたいくつか
の項目については今回から
早速取り入れていきます。
今後よりよい議会報を
目指します。

前半は「住民に読まれ伝
わる議会広報の基本と編
集」と題して、議会報編集
の技術的な講義。

後半は実際の紙面を見な
がら良いところや改善点を
指摘していくクリニックで
鷹栖町議会では170号を
チェックしていただきました。



【講師】
広報コンサルタント

芳野 政明 氏

- 定例会の詳細が並列的
⇒情報を選択し整理して掲載しました。
- 予算審査の質疑のヨコ組は必然性なし
⇒タテ組を基本として全体的なレイア
ウトを見直しました。
- 写真ゼロのページ、視覚要素が少ない
ページがある
- 写真が小さい
⇒写真ゼロのページがなくなるよう
にし、また写真もなるべく大きなもの
を使うようにしました。



研修会には全道から 103 町村 530 人が参加

議会報「孔雀草」171号

モニターのみなさんからの意見

問題をかみくだいて理解しやすくすると関
心を持つ人が増えるのでは。

情報を整理し、わかりやすくなるよう努め
ました。

(意見書を提出した) 種子条例について知
らない方がほとんどでは。語句の説明やな
にが問題なのか補足があると興味を持てる
のでは。

語句の説明を増やしました。今後も読者の
目線に立って丁寧な説明を心がけます。

子供がもっと関心を持つように

どんなことができるか考えます。

所管事務調査のように新しい施設の紹介や
取り組んでいることなど写真と共に載って
いると読んでみたくなる。

写真をもっと大きく！記事になっている人
たちの写真も町で会ったらわかるくらい大
きくしてほしい。

写真の量を増やし、大きくしました。
住民の方を紹介する要素も増やしてい
ます。

6名の議会報モニターのみなさんにアン
ケートにお答えいただいています。
ご意見ありがとうございました。

12月は「土曜議会」

傍聴お待ち
しています



議場は役場3階にあります

12月定例会は**12月8日(土)**
～**10日(月)**

※9日(日)は休会

8日(土)には休日議会として一般質問を行います。多くの方の傍聴をお待ちしています。

- 日程は変更になる場合があります。
- 傍聴の際は、住所と名前をご記入いただきます。
- 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

今回の表紙

鷹栖小5年生が稲刈り体験

今回の表紙は稲刈りの様子です。鷹栖小学校では毎年、5年生が田植えや稲刈りの体験を行っています。

今年9月26日に鎌を使って刈り取りを行った。機械での稲刈りの様子の見学をしたりしました。



機械がたくさん刈っていたので、昔の人の大変さを感じました。なぜかという、機械と5年生で稲刈りをやって、5年生が刈った量は少しでしたが、機械で刈った量は、5年生の倍以上だったからです。

鷹栖小5年生 太田悠海くん

くじやくぞうクイズ

次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。

- 問1** 12月の定例会は「〇〇〇〇」として開催します。
- 問2** 鷹栖地区住民センターではプレオープンに合わせて〇〇〇〇〇〇展が開催されます。
- 問3** 懸垂幕の製作は全国大会等の〇位以内入賞を基準としています。



この議会日より「孔雀草」の中に答えがあるので、探してみてください。

《応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。孔雀草を読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えいただければ幸いです。全問正解者の中から抽選で3名の方に商品券1000円分をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)前回は6名の方にご応募いただきました。ありがとうございました。

《あて先》

〒071-1292
鷹栖町南1条3丁目 議会事務局 宛
FAX 0166-87-2196
✉ gikai@town.takasu.lg.jp

《しめきり》

平成30年11月30日(金) 消印有効

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。



ながはら かずお
長原 和夫さん
(北斗・34区町内会)

地域活性化のための思索

私は北斗地区に居住して50年が経ち地域の皆さまには何かとお世話になり今日があります。さて鷹栖町では健康福祉の町として近隣町村・道内でも有名になり今も進化しております。人口も北野、鷹栖地区に団地が造成され、一時期は増加しましたが、今では減少になりつつあります。中央、北成、北斗地区の減少率は他でも無いぐらいの結果になっており、原因は少子高齢化などいろいろあると思います。

町社会福祉協議会では買物支援等考えておりますが、利用者は限られている様です。自己本意の考え方が多い生活環境になっている様に思われますが、地域住民同士の和が大事だと考え少人数でも話せる場所、集会所（公民館）でも利用できると思いますので月一回ぐらいでも開放してもらい、コミュニケーション、会話、室内軽運動体験等を実施を考えております。老人会では月一回の例会日を定め多数の方が参加しておりますが、使用料の問題もあり、今後考える時期に来ております。地域活性化のためにも、行政・議会の皆様の再度ご検討をお願い致します。

■ わたしの一言 ■

母となり・・・

私は鷹栖町で生まれ育ちました。今は母となり、小学生の子供が2人います。数年間、町外に住んでいたこともありますが、長女が小学校に入るのを機に鷹栖町に戻ってきました。鷹栖町以外での子育てでも経験し、鷹栖町の子育て支援の良さを身をもって感じる日々です。

子供達は社会福祉協議会主催の寺子屋や教育委員会主催の土曜教室「がんばるど!」、他にも水泳教室やスキー教室など、色々と参加させてもらっているのですが、町外の方にそういう機会があることを話すと大体驚かれ、そして羨ましがられます。習い事感覚で勉強や運動など出来ないことが出来るようになっていくこともあり、子供達もとても楽しいようです。親としても勉強等を教えてもらえるという利点以外にも、学校や家族以外の人と触れ合う機会が出来るので社交性が身につく、嬉しい限りです。

これからもどんどん参加させていただき、子供達にも鷹栖町をもっと好きになってもらえたらと思っています。



なかの あきほ
中野 明穂さん
(北成・成和町内会)

